



学校評価特別号

令和元年10月



学 校 だ よ り

京都市立西大路小学校

校 長 櫛山 雅亮

TEL 313-0501

FAX 313-4912



令和元年度1学期末学校評価

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケートを分析し、令和元年度の取り組みについて評価します。

○保護者アンケート集計結果○

保護者アンケート		重要度			実現度			ニーズ度		
		29年度	30年度	令和元年	29年度	30年度	令和元年	29年度	30年度	令和元年
確かな学力	学校が、「わかる」「できる」「楽しい」授業をめざしていること	6.7	6.9	6.9	4.9	5.2	5.6	21	19.3	16.6
	学校が、コミュニケーション能力育成のため、取組の充実を図っていること	6.4	6.8	6.8	4.8	5.3	5.3	21	18.4	18.3
	学校が、家庭での読書を推奨していること	6.1	6.1	6.3	4.3	3.6	5	23	26.8	18.9
	学校が、学力を高めるために授業と家庭学習をつなげようとしていること	6.2	6.7	6.5	4.5	5.1	5.1	22	19.4	18.9
豊かな心	七条中エリア4校が連携して、ルールやマナーの大切さを指導していること	6.4	6.1	6.7	4.5	4.8	5.1	22	19.5	19.4
	七条中エリア4校が連携して、いじめや暴力を許さない学校づくりに努めていること	6.5	6	6.8	4.3	4.7	4.9	24	19.8	21
	七条中エリア4校が連携して、「あいさつ」の習慣化に取り組んでいること	6.6	6.4	6.6	4.9	5.3	5.3	21	17.3	17.8
	七条中エリア4校が連携して、自尊感情を育む教育を大切にしていること	6.5	6.1	6.7	4.5	5.4	5	23	15.9	20.1
	学校が自主性を育むために、児童会活動や学校行事等の特別活動の充実に取り組んでいること	6.4	6.5	6.4	4.8	5	5.4	21	19.5	16.6
健やかな体	学校が、家庭へ積極的に呼びかけ、基本的な生活習慣の確立に力を入れていること	6.2	6.3	6.4	4.9	5.3	5.6	19	17	15.4
	学校が、健康な体を育むために、体力づくりや遊びを推奨していること	6.4	6.5	6.6	4.8	5.2	5.5	21	18.2	16.5
	学校が、安全教育に力を入れていること	6.5	6.5	6.7	4.8	5	5.5	21	19.5	16.8
	学校が、健全な心と体を育むために、薬物乱用防止教室や情報教育、保健指導に取り組んでいること	6.4	6.7	6.7	4.7	5.3	5.1	21	18.1	19.4
地域とともに	学校が、地域の伝統を子どもに伝える機会を作っていること	6.1	6.2	6.2	5.9	6	6.3	13	12.4	10.5
	学校が、教育課程の中で地域の特色を取り入れ、地域と連携して教育活動を行っていること	6.1	6.2	6.3	5.7	6	6.3	14	12.4	10.7

アンケート結果より、見えてくること

○児童アンケート集計結果○

「重要である，よくできている」を7，「やや重要である，出来ている」を5，「あまり重要でない，あまり出来ていない」を3，「重要でない，出来ていない」を1として平均を算出しました。ニーズ度は，《重要度×（8－実現度）》です。最高ポイントは49になります。児童アンケートについては，実現度だけを答えています。

保護者アンケートを見ますと，多くの項目で，重要度，実現度ともに30年度末のアンケートとくらべて増加しています。とりわけ，豊かな心については，その重要度が大きく増加していることから，学校や地域における心の教育への期待が高いことがうかがえます。重要度が大きく増加したため，重要であるが実現していないと考えられるニーズ度が，低下しています。実現度が低下しているわけではありませんが，より一層，期待に応えられるよう，取り組んで参ります。

【確かな学力】についての第一項目，「授業がよくわかる」の実現度が増加しています。学力保障は言うまでもなく，学校教育活動の大きな目的です。今後も教職員一同，研修を重ね，よりよい授業づくりを進めていきます。

子どもたちに「自己肯定感」を育むことも学校教育の大事な目的の一つです。自己肯定感に関わる【確かな学力】の2項目目「すすんでじぶんのいけんをはっぴょうしたり，ぶんしょうでかいたりしていますか」は，昨年度5.3ポイントが4.8ポイントに低下しています。授業の中で，自分の意見に自信をもって発言できるよう，授業展開を工夫したり，全員が交流前に意見をもったりすることができるようにしていくことで改善を図りたい。【豊かな心】の3項目目「じぶんからすすんで，きもちのいいあいさつをしていますか」と4項目目「じぶんがすきだ。じぶんはやくにたっている。じぶんにできるきがする。とよくおもいますか。」は，ともにポイントが上がっています。地域や学校の中で，日常的にあいさつを交わしたり，行事に参加したり，地域学習に出かけたりすることを通して，自己肯定感が育まれていることは大きな成果であると感じます。

【健やかな体】については，保護者アンケートの「薬物乱用防止」「情報教育」「保健指導」への取組やじどうアンケートの「パソコンやゲーム，けいたいでんわやスマートフォンのやくそく」の項目がどちらも低下していた。年々進歩する情報機器やスマートフォンの使用に不安を抱えている時代とも言える。これについては，ご家庭と連携しながら，今後も学校教育活動にしっかりと位置付けて啓発を進めていきたい。

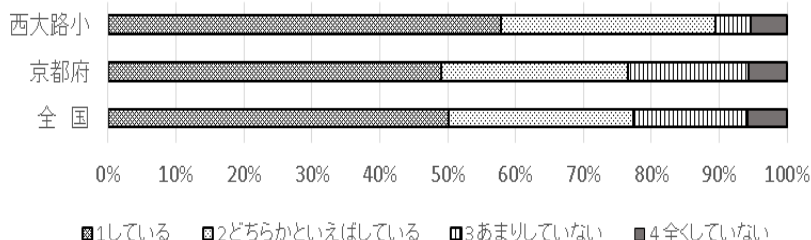
最後に【地域とともに】については，重要度・実現度ともに非常に高く，保護者もじどうも満足していることが，その数値からも明らかである。日頃から地域の方々に見守られ，安心して過ごすことができる。

児童アンケート		実現度		
		29年度	30年度	令和元年
確かな学力	じゅぎょうはよくわかりますか	6.1	5.7	5.9
	すすんでじぶんのいけんをはっぴょうしたり，ぶんしょうでかいたりしていますか	5.9	5.3	4.8
	いえで，まいにちほんをよんでいますか	5.1	5	4.6
	いえで，まいにちがくしゅうをしていますか	6.2	5.6	5.9
豊かな心	ルールをまもり，マナーをこころがけていますか	6.3	6.3	6.3
	ともだちをたいせつにしていますか	6.6	6.5	6.6
	じぶんからすすんで，きもちのいいあいさつをしていますか	6.1	5.7	5.9
	「じぶんがすきだ。」「じぶんはやくにたっている」「じぶんにできるきがする」とよくおもいますか	5.4	5	5.2
	かかりのかつどうやがっこうぎょうじにすすんでとりくんでいますか	6.3	6.2	6.1
健やかな体	「はやね・はやおき・あさごはん」など，きそくたししいせいかつができていますか	5.6	5.4	5.4
	じぶんからすすんでからだをうごかしていますか	6	5.9	6.1
	いつもあんぜんにきをつけて，とうげこうしたり，あそんだりしていますか	6.5	6.3	6.3
	パソコンやゲーム，けいたいでんわやスマートフォンなどをつかうときは，おうちのひとときめたやくそくをまもっていますか	6.6	6	5.6
地域とともに	ちいきのおまつりやぎょうじに，さんかしていますか	5.9	5.9	6.1
	ちいきのかたにおせわになるがくしゅうにせっきよくできにとりくんでいますか	6.3	6.1	6.1

全国学力状況調査 児童質問紙より

4月18日に、本校6年生19名を対象に実施された「全国学力調査」では、国語科と算数科の2教科の学力調査と同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されました。児童質問紙の結果から見てきたことをお知らせします。

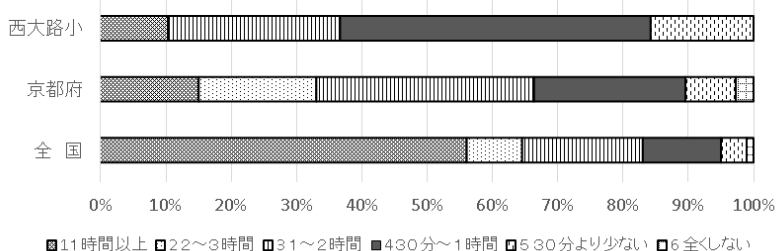
家の人と学校での出来事について話をしますか。



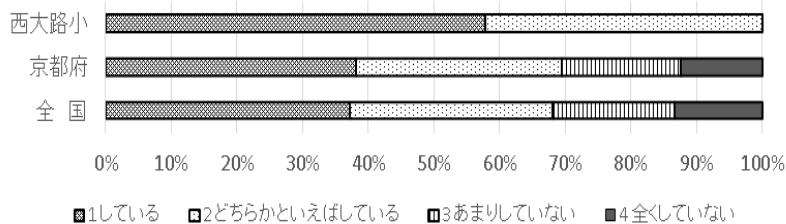
家の人と学校での出来事を話す割合は、京都市や全国よりも高い結果でした。居場所や安心感があり、おうちの人に聞いてもらえる環境があるからこそ、積極的に話そうとするのだと思います。毎日少しでも、家族団らんの時間があることで子どもたちの気持ちは安定し、自己肯定感も育まれるのだと思います。

家庭学習については、学校アンケートでは、微増でしたが、京都市や全国と比べると毎日の勉強時間は短いようです。また、家庭での読書については、児童アンケートでポイントが減少していました。学校外の勉強については、その質と量が適切であるか、時として見直すことも必要ではないでしょうか。

授業以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



今住んでいる地域の行事に参加していますか。



学校評価アンケートでも高い数値を示していた【地域とのつながり】について、児童質問紙の結果にも表れています。京都市や全国と比べて地域行事への参加がきわめて高いことが分かります。子どもたちがごくごく自然に地域行事に参加する西大路。とても素晴らしく、誇らしいことだと思います。

学校運営協議会理事会（9月24日）より

9月24日に学校運営協議会理事会を開催しました。前期のアンケート結果をもとに、たくさんのご意見をいただきましたので、報告させていただきます。

アンケートで保護者・児童ともに低下していた、情報教育・パソコン・ゲーム・スマートフォンの使い方についての意見が出された。

- ・時代の流れである。スマートフォン・ゲームに囲まれた生活を送っている。
- ・最近テレビの話をしなくなった。ゲームの話が多い。学校の授業でもパソコン・タブレットを使う時代である。歩きスマホやユーチューブがあたりまえの時代である。

- ・遊びに行くときに必ずゲームやスマホをもっていく。小学校でもスマホを持っているのか。
- ・本校は他校に比べるとスマホの個人持ちは、少ない方である。
- ・習い事で遅くなる際の連絡方法として持たせているケースが多い。
- ・最近では固定電話がない家庭も多くなっている。

☞ こういった現状の中、スマホ＝ダメとはならない。上手に付き合っていく方法を考えなくてはならない。

地域行事への参加率が多いことについて

- ・地域とのつながり、コミュニケーションがうまくいっている。
- ・みこし、伝統産業など、学習に位置付けてつながっている。
- ・地域の方も子どもたちを知ってもらっているので、常に声をかけあえる関係が基盤となっている。
- ・大きい学校ではできることが限られている。小さい学校だからこそできることがある。

☞ 一人ひとりに手厚く関われる・・・競争力では弱いところがあるかもしれない。

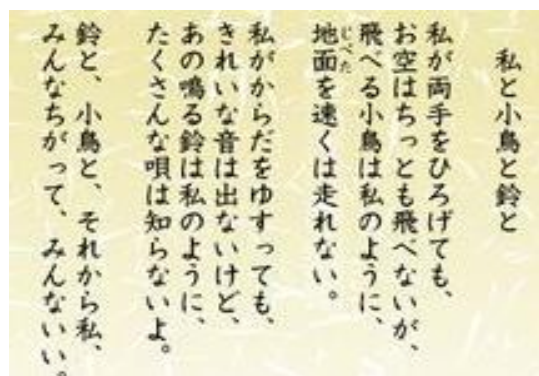
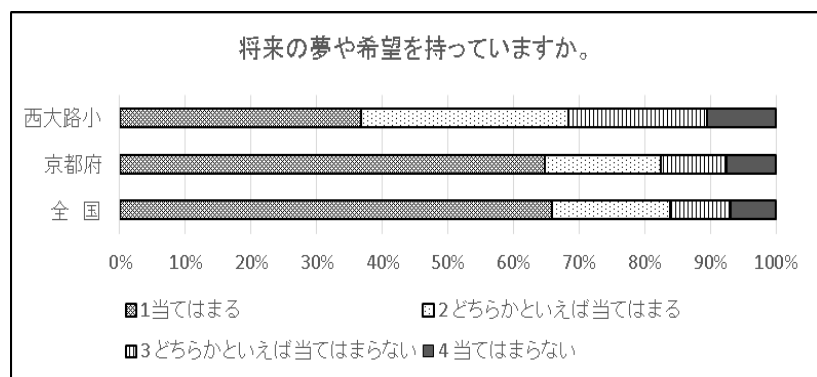
生活習慣について

- ・寝る時間が遅い原因として、共働きがある。夕食のスタートが遅くなり、どうしても寝る時間に影響が出てしまう。☞ なかなか朝、起きられない。起きててもまだ眠たそう。
 - ・あいさつや掃除などの取組として、小中で連携している。
- ☞ あいさつ運動やお掃除し隊の取組では、中学生が出身小学校へ出向き、あいさつをしたり、一緒に掃除をしたりしている。中学生が小学生のお手本となるよい機会になっている。

その他

- ・地域には抜け道になる危険な場所があるが、行政区が違ったり、担当課が違ったりして、なかなか対策が進まない現状がある。
- ・放課後の見守り隊は、大変ありがたい。児童館や放課後の部活動等で帰宅する児童は限られており、時として、児童の下校に出会わないこともある。そんな中で、見守り当番をしていただいていることは本当にありがたいことである。下校人数が少ないということは、それだけ危険と隣り合わせであるとも言える。見守り当番の方に立ってもらっていることの安心感はとても大きい。

前期のアンケートにご協力いただきありがとうございました。皆様から頂きましたご意見をもとに今後も取組を進めてまいります。これからもご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



将来の夢や希望を持っている割合は、京都市や全国に比べて低かったのですが、悲観することではないと思っています。将来が見えている子もまだ見えていない子もいていいのです。何歳になっても夢や希望は、新しく生まれてきます。一人ひとりがかけがえのない存在として、西大路で個性を発揮できるよう、今後も地域と家庭と学校でスクラムを組んで、子どもたちの成長を見守りましょう。